

提案 ごみ処理からまちづくり・新しい産業をつくりましょう。

■焼却ごみの半分は生ごみです。水分を重油で燃やします。

水分を燃やすごみ処理は、お金がかかりすぎです。

生ごみを吉見町の焼却場まで運び、重油で燃す必要性はありません。

■生ごみ・枯れ木・枯れ枝・の再生可能エネルギー化で、サステイナブル（持続可能性の地域づくり）を提案します。資源化できるものは資源にすることでごみ処理は産業に生まれ変わります。



生ごみの分別収集・植木剪定枝・落ち葉などの分別収集で、ごみの減量化ができます。

ごみ減量化を住民レベルで話しあって、資源にするシステムを政策とすることがすっ飛んでいます。

焼却ごみの減量化はストップしています

■生ごみの分別収集⇒堆肥化⇒バイオマス発電への取り組み

■山の産物・木材で、高層建築も可能であることの広報化と新しい産業の構築、山の産物の端材で電力をつくっていくエネルギー産業を嵐山町と小川地区衛生組合に提案していく働きかけをします。

議員無投票選挙で、嵐山町議会は、少数派の排除が当たり前になりました。

■嵐山町議会のすべての役職を政友会(自公議員)がとりました。

- ・ 埼玉中部資源循環組合には、川口浩史議員（共産党）と青柳賢治議員（政友会）が立候補。4対10で青柳議員に決定。
- ・ 小川地区衛生組合には、河井勝久議員（社民党）と森一人議員（政友会）で投票。4対10で森一人議員に決定。
- ・ 監査委員は、清水正之議員（共産党）と吉場道雄議員（政友会）が立候補。4対10で吉場道雄議員に決定。
- ・ 政友会の議員は、事前にすべての議会役職を政友会が占めることを決めたということでした。



■地方議会は、国会とは違います。

地方議会は自治体の政策をチェックし、政策立案の使命があるので、自公議員だけで進めるのでは片寄ります。今、嵐山町議会はチームワークが崩れ、議会機能が低下した状態です。

異なる意見を排除する議会に…立候補して、政治のリーダーシップを志す人はいなくなります。

■人口減少で税収減・行政サービスの低下は必ず起こります。何が議論されたか知りたくないですか。

多くの政友会議員は、何が議会で議論されているか皆さんに知らせる必要はなく、結果を知らればよいといいます。私は4回、学年費補助金を復活させる予算修正案を提案し、政友会が否決。政友会議員の多くは「子育て支援」を4年間の抱負に入れています。どんな子育て支援でしょうか。

平沢2区から
千手堂に転
居しました。



渋谷とみ子の会 埼玉県比企郡嵐山町千手堂39-46 Tel / Fax 0493-62-7997
<http://space.tom-shibuya.com> e-mail shibuya97@s4.dion.ne.jp